

グローバルコース 2年生 オーストラリア留学 報告レポート No.1



1月25日（日）に旭川を出発してから、オーストラリアでの生活が3週間経過しました。

留学中の生徒たちから、写真とコメントが届いています。

生徒たちが留学しているのは、南オーストラリア州にある「アデレード」という都市の校外です。それぞれ異なる学校に通っています。

小林 大瑚さん

1月26日にオーストラリア南部のカンガルー島に到着し、現地の学校に通い始めて約3週間が経ちました。こちらの学校では、授業中を含めた学校での生徒の過ごしが日本と大きく異なります。授業中は生徒が自由に教室を出入りし、水を汲みに行ったり軽食を取ったりすることもあります。一方で、スマートフォンの使用は禁止されており、学習に集中できる環境が整えられています。

今の時期のカンガルー島は最高気温25°C前後の晴れの日が多く、島全体で落ち着いた時間が流れています。



田中美有さん

オーストラリアでの生活が始まってから3週間が経ち、現地での生活にも少しづつ慣れてきました。最初の1週間は、生活習慣や言語、食文化、学校生活などすべてが日本とは異なり、非日常感が抜けず、この先の生活を想像できないほど不安な気持ちで過ごしていました。

友達も一から作らなければならず、英語が話せなければ相手にしてももらえないのではないかと感じる場面もありましたが、思い切って声をかけたことをきっかけに、一緒にランチをするほど仲良くなることができました。今では毎日さまざまなことを質問させてもらっています。

分からぬことがあったときに、察してもらうのを待つのではなく、自分から聞くことが成長への第一歩であると実感しました。弱音を吐いていても何も変わらない、今この時間を大切に生きなければ無駄になってしまうのではないかと思えたことが、行動に移すきっかけだったと思います。

授業では、日本ではありません経験することのない農業の授業で雛から鶏を育てたり、音楽の授業でアンサンブルの練習を行ったりと、新しいことに挑戦しています。

また、週末にはホストファミリーがさまざまな場所へ連れて行ってくださり、コアラを抱っこしたり、カンガルーに餌をあげたり、観光地を巡ったりと、オーストラリアならではの貴重な経験をさせていただいている。

10週間という長いようで短い期間の中で、多くの経験を通して自分自身が良い方向へ変化できるよう、これからも前向きに、積極的に取り組んでいきたいと思います。



田中琉可さん

多くの新しい経験に挑戦しています。海で泳ぐ授業があり、シュノーケリングやサーフィンをする授業やクラブもあります。全てが初めての経験で不安もありますが安全に気をつけながら前向きに取り組んでいます。また、英語の環境の中で、日本はない授業や文化に触れて、コミュニケーションの面でも頑張っています！成長できるように頑張ります！



高橋 夢陽さん

オーストラリアに来てから、生活の違いや学校の授業の様子など、さまざまな変化がありました。最近やつと慣れてきました。意外にも私の家のホストファミリーは普段からお米を食べているので、思っていたほどのカルチャーショックはありませんでした。

学校の授業では、生徒が積極的に発言していることや、身だしなみの自由度が高いことが印象的です。



浜辺 澄さん

オーストラリアに到着してから最初の3日間は、不安な気持ちが大きく、この先の留学生生活をうまくやっていけるのかとても心配でした。しかし、時間が経つにつれて少しずつ生活にも慣れ、約3週間経った現在は日本との違いを前向きに楽しめるようになってきました。

学校では、初日は友達も知っている人も一人もおらず、教室や時間割も分からぬ状況で、自分から行動しなければ何も始まらないと強く感じました。そこで勇気を出して自分から声をかけてみたところ、先生方や生徒の皆さんのがとても親切に接してくれ、友達もできて、いまでは安心して学校に通うことができています。

また、日本の学校ではなかなか経験できない授業が多くあることも印象的です。農業の授業で羊を移動したり、写真の授業で写真を撮影したりと、体験を通して学ぶ授業が多く、毎日楽しく学習しています。

生活面では、環境の変化に戸惑うことや驚くこともあります。ホストファミリーの方々がとても親切で、安心して過ごすことができています。また、同じ学校に日本人留学生が他にも2人いるため、心強く感じています。ホストファミリーが寿司屋や日本料理のお店に連れて行ってくれることもあり、温かい気遣いを感じています。

この留学を通して、自分から行動することの大切さや、異文化の中で生活する楽しさを学んでいます。残りの留学期間も、さまざまなことに積極的に挑戦し、成長につなげていきたいと考えています。

